

日本学術会議 化学委員会 IUPAC 分科会 (第 24 期・第 5 回) 議事録

日時：平成 30 年 12 月 27 日 (木) 16:40～17:35

会場：日本学術会議 6 階 6-A(2) 会議室

出席者 6 名：黒田 玲子、栗原 和枝、酒井 健、茶谷 直人、所 裕子、山内 薫

スカイプによる出席者 1 名：竹内 孝江

欠席者 5 名：澤村 正也、澤本 光男、巽 和行、長谷川 美貴、山本 陽介

委員長	酒井 健	(九州大学大学院理学研究院・教授)
副委員長	茶谷 直人	(大阪大学大学院工学研究科・教授)
幹事	竹内 孝江	(奈良女子大学大学院自然科学系・准教授)
幹事	所裕子	(筑波大学大学院数理物質科学研究科・教授)

冒頭、委員の半数以上の 7 名の出席が得られたので、分科会として成立することが確認された。

- (1) 2018 年 5 月 15 日に開催された第 24 期・第 2 回 IUPAC 分科会の議事録について報告がなされ、承認された。
- (2) IUPAC の活動との連携について、2018 年 4 月 27 日に IUPAC Division V 主催の Off-year meeting が奈良女子大学にて開催され、活発な議論が行われたことが報告された。
- (3) 各国が負担する IUPAC 年会費について、各国の経済的データにもとづいた会費に改正されたことが報告された。日本の年会費についても説明があり、この変化について日本学術会議に説明を行ったことが報告された。
- (4) 国際周期表年・各種記念事業について、国際周期律表分科会の設置、実行委員会の設置、ホームページの設立など、準備状況の報告がなされた。
- (5) 国際周期表年国内イベント・閉会式について、閉会式を行うことになった経緯や、種々の国内イベントを通して教育や産学連携に貢献していくことの重要性が説明された。
- (6) IUPAC の Divisions や Standing Committees の活動に、より多くの日本からの委員が参加していくために、Titular Members, Associate Members, National Representatives の候補を推薦していくこととした。

以上